

点滴台に下げられている  
輸血の袋に両手を合わせて  
お礼を言いました。

たくさんの人たちが献血をしてくださった  
おかげで、私は今日も生き延びられる。

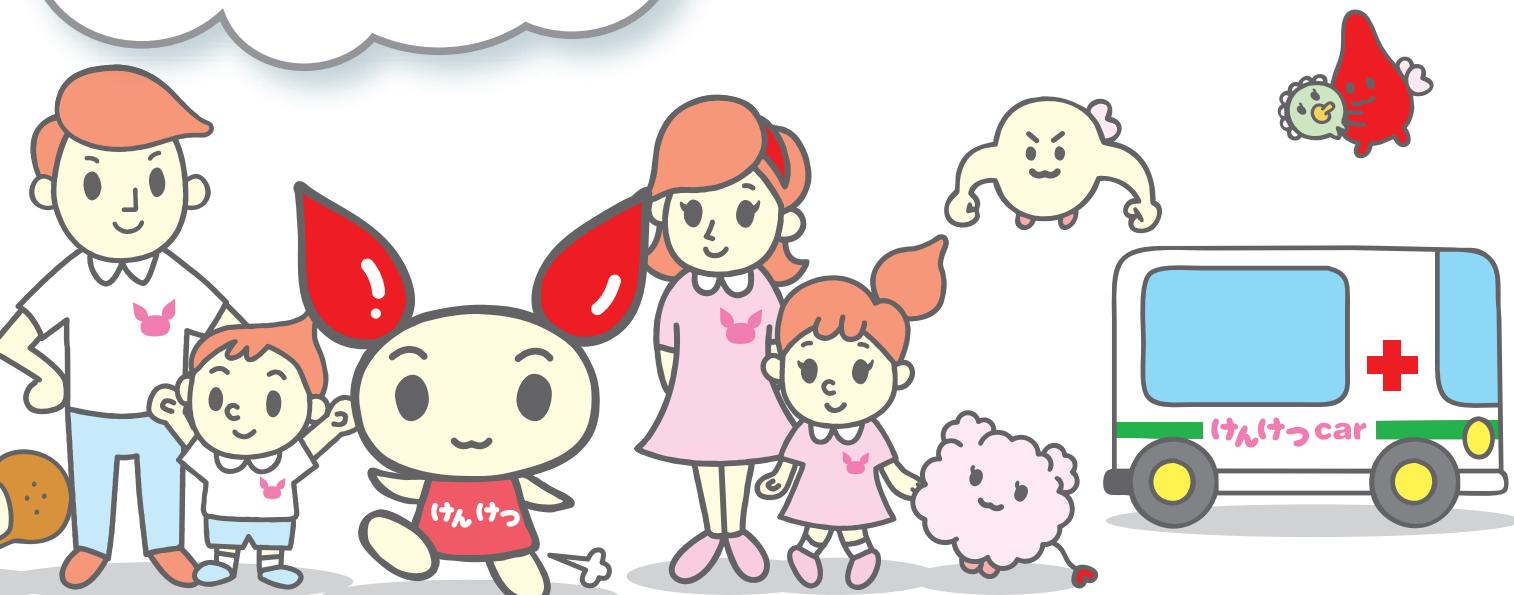
少しでも元気になる。たくさんの人たちのパワーを  
もらって希望が持てるようになりました。  
本当に本当に、みなさまありがとうございました。

献血と言えば、  
手術とか事故しか思い浮かばなかったが、  
自分が血液の病気になり、  
本当に献血の必要性を強く感じた。  
同時にとても感謝しています。



まさか自分が輸血を受けなければ  
いけない病気にかかるとは、  
夢にも思っていませんでした。  
いつも心の中で(どこのどなたなのか分からぬ  
けれど)感謝しています。  
数日前、病室のテレビで、献血をする人の数が減り、  
高校生や大学生が街頭でキャンペーンを行っている  
様子を見ました。それと献血ルームで献血を行っている  
人の映像も目にすることができます、感謝しました。  
これからもぜひ、運動を続けていって  
ほしいものと思います。

現在入院して治療中です。  
血液の病気で小児です。  
長期にわたり大変多くの輸血を受けました。  
一回一回ごとに  
多くの方々の献血・善意に本当に  
感謝しています。



# 輸血を受けた方々の声

このページでは、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の方の声を紹介します。

